



1年生を迎える会(6年生との交流)を開催しました。

新型コロナウイルスについては、東京都を中心に関東などで感染者が増加しており、県外への移動制限が解除されているので、今後、感染がひろがる可能性もあり、心配しているところです。

本校においては感染予防のため、全校集会を放送で行うなどの対応を継続しているところですが、1年生の歓迎行事を何もしないというのは1年生がかわいそうということで、6年生が知恵をしぼって歓迎会を開いてくれました。

その内容ですが、6月29日(月)は1組、30日(火)は2組、7月1日(水)は3組と、学級ごとに昼休みを利用して体育館に移動し、ステージ上から紙飛行機を飛ばし、だれが一番遠くまで飛ばすことができるかを競うものです。6年生は前の週から1年生の教室を訪問し、飛行機の折り方や飛ばし方を教えていました。また、当日も会の運営に積極的に取り組み、1年生はとても楽しい時間を過ごすことができました。



うまく飛ばせるかな



遠くまで飛ばせ!



終了後の交流



6年生ありがとう!

紙飛行機大会を開催中、体育館にはAKB48の「365日の紙飛行機」という歌が流れていました。ご存じの方も多いと思いますが2015年9月から放送されたNHK連続テレビ小説「あさが来た」の主題歌で、作詞は秋本康さん。ドラマのスタッフからストーリーを聞いたとき、女性の生き方への制限が大きかった時代に「時代」を言い訳にせず、冒険し続けたヒロインの屈託(くつたく)のない生き方に興味を持ち、「紙飛行機」という言葉を思い浮かべたそうです。

歌詞にこめた思いは作詞家本人にしか分かりませんが、聞き手は自由に解釈できます。例えば紙飛行機を子どもたちに、風などをまわりの大人に置き換えて考えてみました。紙飛行機が高く飛ぶためには、適度な風が必要だし、人の手で押し出されなければ飛ぶことはできません。紙飛行機が高く飛び上がるまでは、いい風を送り続けたいものです。

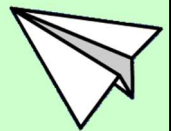
365日の紙飛行機

作詞：秋本康 作曲：角野寿和/青葉紘季

朝の空を見上げて 今日という一日が笑顔で
いられるように そっとお願いした
時には雨も降って涙も溢(あふ)れるけど
思いどおりにならない日は 明日がんばろう

ずっと見てる夢は 私がもう一人いて
やりたいことを好きなように自由にできる夢

人生は紙飛行機 願い乗せて飛んでいくよ
風の中を力の限りただ進むだけ
その距離を競うより
どう飛んだか どこを飛んだのか
それが一番大切なんだ
さあ ころころのままに 365日 ※後略



夏の夜空に織り姫と彦星を探してみよう。



7月7日(火)は七夕祭り。織り姫と彦星の伝説はご存じのとおりですが、実際の夜空を見上げたとき、この2つの星を探すのはそんなに難しいことではありません。実は夏の大三角と呼ばれる3つの星のうち、こと座のベガが織り姫、わし座のアルタイルが彦星です。近年、夜空は周りの光にさえぎられて見えにくいのですが、その2つの星の間に薄ぼんやりと天の川があります。当日は天候不良で星は見えないかも知れませんが、夏の間観察できるので、一度家族で観察してみてもはどうでしょうか。